

シルバー

ところざわ

◆発行 法人 所沢市シルバー人材センター 1991

11

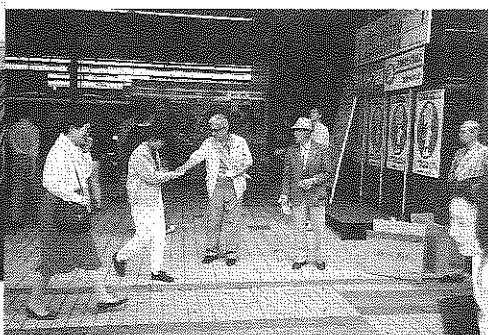
No. 37

会員増強を

呼びかけ

役員・職員が街頭に出て!!

笑顔でどうぞ!!

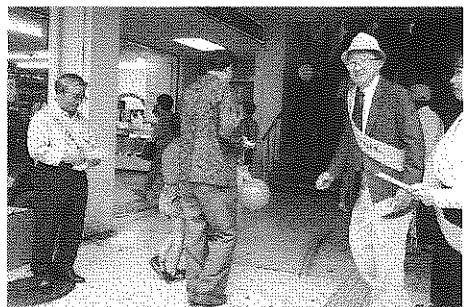


あなたも会員に?

シルバー人材センターでは、事業普及啓発促進月間の一環として10月5日（土）正午より所沢駅前・ダイエー前・新所沢駅前の三ヶ所で理事長・理事・地区委員・職員22名がパンフレット・ティッシュペーパー等（4,500部）を2時間にわたり道行く人々に笑顔で（タスキ掛け）会員増強を呼びかけた。

又、10月26日（土）27日（日）両日、航空公園で開催された市民フェスティバルに参加、山本婦人部長・塙本副部長・職員で会員増強の呼びかけを行った。あいにく27日（日）は朝から雨であったが雨にめげずPRに努めた。

さて、効果はいかに!!



新所沢駅前にて

シルバー親睦旅行に参加して

富岡地区 浅井 広

毎年楽しみにして居る親睦旅行が今年も九月十八、十九日の二日間の予定で南信州昼神温泉行で行われたのに、生憎の台風十八号の接近で危ぶまれた天候も出発の時は小雨であります。車中では歌も出て賑やかに過ごし、やがて駒ヶ根に到着。昼食後、養命酒工場を見学。女子社員の方の説明を聞きながら養命酒の製造過程を見学し、御土産まで戴いた。

いよいよ楽しみにして居た天竜下り。弁天港より乗船。雨天続きの天竜は水かさも増し流れも急。歌の通り、しぶきもかかり船もゆれ、女性会員の「キャー、キャー」の声の中、海辺育ちの私は泳ぎには自信があるから揺れた方が面白いと口では言いながら、内心では冷々三十分のスリルを味わい、時又港に到着。一日目の予定も終り、宿舎昼神温泉に到着した。温泉にのんびりと入り、夜は私の最大の楽しみの宴会。歌あり踊りあり、皆さんのお上手ななくし芸をしばし楽しませていただきました。最後は全員で『星影のワルツ』を合唱、女性の方々と肩を組み若返った気分の内おひらきとなりました。

二日目は台風十八号が本土上陸も危ぶまれ、雨足も烈しい中に妻籠宿の江戸時代そのままの街並を一同興味深く見学。福島関所跡の見学では、暫らくタイムカプセルに入った様な気分でした。漆器会館見学を最後に帰途に向かいました。道路状況も悪化。塩尻I・Cに近づく頃は、中央高速韮崎より先が大雨の為不通。止むなく高速を出て普通道路を走行。先行不安を感じつつ、どうやら石和に到着したもののそれから先、各所で通行止。最悪の場合、車中で一泊と覚悟して居たが、理事長さん始め事務所及びバス会社の皆さんのお骨折りで、河口湖のホテルで一泊する事が出来、留守宅へは事務所から連絡して貰い、家の者も安心したと思います。一泊二日の予定が二泊三日になり、二十日の正午所沢に帰り、色々大変でしたが過ぎてしまえば楽しい思い出となりました。来年も又、元気で旅行に参加したいと思って居ります。

秋雨や天竜下りの船早し



ハイ チーズ



宴 たけなわ



合同県外視察研修

10月21日(月)・22日(火)両日、役員・地区委員・職員合同県外視察研修が実施された。

視察先は新潟県柏崎市のシルバー人材センターである。秋晴に恵まれた両日、増村理事長外17名の編成である。

1時10分到着。早速、会議室に案内され、笠木事務局長の説明を受けた。

柏崎市は人口87,362人（うち60歳以上20,456人）会員数872人とのこと。地域性とはいえ、人口に於ては所沢の1／3強、会員数においては1.8倍である。現在、全国各シルバー共、会員増強が問題化されている中で、今回の視察先に柏崎市を選定した事は当を得たものといえよう。今後益々高齢者社会に伴ない、シルバー人材センターの任務は重大となる。60歳以上の人ロ母体から如何にして会員の増加を確立するかが、センターの運営上的一大キーポイントになろう。

事務職員の全員にパソコンを備えOA化を計ると共に、部会活動が盛んで役・職員が熱意と実行力に富む運営をされている事に対し感銘を得た。各理事から活発な質疑が行われ、実りある成果を得、3時30分視察研修を終え、第2研修会ホテル高半に向かった。

みのりある成果を持ち帰り充分検討を重ね、益々のシルバー活性化と、事業運営に積極的に取り組みたいと思う。



笠木局長の熱弁に

事務局を案内されて



視察研修に参加した役員さんは 次のような感想を!!

理事長 増 村 敏 雄

見学者を迎えるための資料データーなどきめ細かい心使いを頂き、同じ道を行く同志として心暖まる嬉しさを覚えた。又、笠木事務局長独りで詳細な説明をいただき、その熱気を肌に感じた。

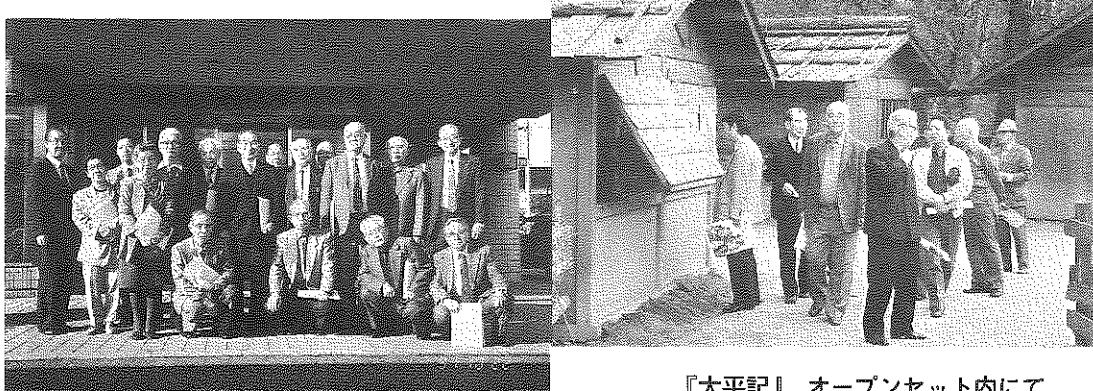
目的の一つであるユニークな紹介状による増員P R、事務職員全員にパソコンを備えるO A化には深い感銘を受けた。

目標である会員900名の達成の一日も早いことを祈念に謝意とする。

理事 伊 東 雄 幸

今回の柏崎市シルバー人材センターへの訪問は、主として会員増強の方法を視察。先方の説明や、諸資料によると同市の人口87,362人内60歳以上20,456人、人口比23.4%の高い比率であり、会員数872人(所沢3月末500人)。この状況がすばらしい。その方法として、会員募集に紹介用紙を使ったユニークな手法を用いていること。事業面では部会活動が活発であること。又、事務面では職員1人1台のコンピューターを使って効率を上げている等が特に目立ち、すべての活動が^{あり}蟻も漏らさぬ態勢であり、誠に有意義な視察であった。

全員で記念撮影



『太平記』 オープンセット内にて

理事長野瑞穂

1. 運営責任者が熱意と実行力に富む。
2. 発想がユニークで地方都市に密着。
3. 会員相互の意識が高く、就業率が高い。
4. 尚、人口八万の都市に総合福祉会館は立派。

十月二十二日朝

理事高橋義男

柏崎の事務局長の熱意にむくいる意味で、本年中900名の悲願達成のあかつきには当シルバーとしては祝意を表す祝電を送ってはどうかと思います。

小井沢昂治

六十歳以上の人口二万人という小さな地方都市に於いて、九百人の会員数を確保して定着させておられる実績と関係者御一同の御努力は高く評価されます。

会員の増強は基より、安全に働くようにとの災害防止対策については当センターに於いても種々の面で安全指導を行っておりますが、別の角度から良い策が得られますかと期待しておりましたが、現在、資料取纏め中との説がありました。

事務局に於いては、近代的コンピュータが職員各自に設置されて事務能率を計られていた。又、多額の補助金を受けられ、使用建物等は無料貸与となっており、市当局の厚い理解と協力に同センターは恵まれておられますと感じました。

今回、研修に参加させて頂き、有意義でありました。

所感

宮崎恵之

結構づくめであったが、他の職員と会員の生の声が聞きたかった（時間の都合は承知）。シルバーに対して、実際にどの程度の意識をもっているのか？

所沢では会員が、会員の名をつらねているが他人事のように考えているものが多い。

会員の意識の向上を計るために、もっと掘り下げる必要があると痛感している。

伊藤義雄

笠木局長の説明には感動しました。

1. シルバーところざわの頁数をもう少しふやせないか。（柏崎は12～14ページ）
2. 入会者用の資料があるのでしょうか。
3. 地区懇談会などで使用（配布）される就業延人員の職郡内訳などはかたちをかえた方がいい。たとえば、年別事業実績を年度はじめにだして、みんなで考えながら目標達成したい。（会員数なども）
4. 会員募集にもう少しかたちを変えた「紹介用紙」を使用してみてはどうだろうか。（これはぜひお願いしたい）
5. 入会者説明会には話術のうまい大野専務が、時間をかけて持ち味を大いに發揮して欲しい。

以上思いつくまま

ご苦労さま みなさんの成果です。

月	会員数	受託件数	就業人員		契約金額		
			実人数	延人数	配分金	事務費	その他
7	487	253	294	5,486	20,965,328	1,250,442	409,218
8	489	218	275	4,735	16,990,942	1,112,856	406,908
9	500	204	281	4,645	17,163,069	1,037,779	345,611
							18,546,459

お知らせ

会員の皆さん、毎日のお仕事ご苦労です。センターも設立以来13年経過致しましたが、日頃それぞれ別の職場で働いているため、なかなか全員、顔合わせる機会のないのがシルバー事業の特徴でもあります。そこで今年は新年顔合わせ（懇親）を下記により企画いたしましたので、飲食を共にしながら日頃の苦楽を語り交流を深めていただけたら幸いと存じます。

一人でも多くの参加を期待し、ご案内いたします。

1. 日 時 平成4年1月17日（金）午前11時より
2. 場 所 旧市役所4階 402, 403号室
3. 会 費 1人1,000円 他センター負担
4. 申 込 会費を添えて12月20日までに申込み下さい。



九月十八日(水)十九日(木)両日の予定が台風の関係で一日延期されました。
尚、収入石井氏より五万円は、小手指地区石井水(死亡)さん
の遺族の方よりいただきました。
詳細はセンター鈴木まで)

編集後記

皆さんの原稿をお待ちしております。お体に気をつけて下さい。
寒さも厳しさを増して参ります。お体に気をつけて下さい。

収 入			支 出	
会費 (理事長含む)	18,000×66	1,188,000	宿泊代 (阿智川)	758,005
職員分	8,500×3	25,500	〃 (丸栄)	495,430
〃 (昼食代2日分)	2,000×3	6,000	食事代 (86,520 93,400 18,622)	198,542
会費追加分 (理事長含む)	7,000×66	462,000	車内まかない	60,350
職員分 〃	7,000×3	21,000	天竜下り 1,800×68	122,400
石井氏より		50,000	福島閣所跡拝観料 180×34	6,120
前回繰り越し		29,627	傷害保険料 200×71	14,200
			乗務員心づけ 16,000	
			高速道路 49,440	
			土産代 44,000	
			フィルム代 1,400	
			写真現像代 3,990	
			電話代 200	
合計	1,782,127		合計	1,770,077
※バス借上料 (2台) 391,400 センター負担				
(収入合計) 1,782,127 - (支出合計) 1,770,077=12,050				
残金12,050円は次回へ繰り越し致します。				